

地域情報研究センターは、政府、自治体、企業、市民等と広く社会的ネットワークを形成するなかで、地域の物的・知的資源を活用した学術研究を行い、本学の教育・研究活動に資することを目的として1999年4月1日に設立されました。また本センターは、自由な研究課題を学内研究者の自由自在な集積共同体によって自己組織化されるとともに、社会的ニーズを基礎とした学外機関との協力関係において研究活動を行う地産官学の協働によるリエゾン型の研究センターです。

主な研究テーマ

- 地域科学 (Regional Science)、都市計画・まちづくり分野の調査研究開発
- 地域開発・地域振興、一村一品 (OVOP)、地域人材育成、地域間交流の調査研究開発
- 気候変動に適応する地域システムの開発および調査研究
- 持続可能な人間社会経済次元 (IHDP) の国際的共同調査研究
- 高度情報化社会、地域情報化社会 (ICT) 分野の調査研究開発
- 行政評価・政策評価・事業評価 (GPEA/AEI) にかかわる調査研究分野
- 庁内情報化、行政改革 (Public Innovation) 分野の調査研究開発
- 社会開発、社会関係資本にかかわる調査研究開発分野
- 企業との連携による CSR、新製品・サービス開発、地域経済の研究調査
- コミュニティ発展 (Social Learning) にかかわる調査研究開発分野

外部資金受入実績

【2011年度】

- 政府系
 - <農林水産省 平成23年度生産環境総合対策事業推進費補助金 農業生産地球温暖化対策事業>
 - テーマ：土壌由来温室効果ガス・土壌炭素調査事業
 - 研究代表者：衣笠総合研究機構 チェアプロフェッサー 柴田晃
 - 研究期間：2011.4.27～2012.3.5
 - <農林水産省 平成23年度都市農村交流等対策推進交付金 (食と地域の交流促進対策交付金)>
 - テーマ：炭素貯留農園を核としたグリーン・コンシューマー交流の実現
 - 研究代表者：衣笠総合研究機構 チェアプロフェッサー 柴田晃
 - 研究期間：2011.7.14～2013.3.31
- 奨学寄附金
 - <Asia SEED/アジアシード 特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構>
 - 研究代表者：政策科学部 教授 鐘ヶ江秀彦
- 受託研究
 - <亀岡市>
 - テーマ：炭素貯留農園を核とした地域振興モデルの開発
 - 研究代表者：政策科学部 教授 鐘ヶ江秀彦

【2010年度】

- 受託研究
 - <ベルテルスマン財団>
 - テーマ：日本における現在の保険政策問題と最近の改革進展
 - 研究代表者：産業社会学部 教授 松田亮三
 - 研究期間：2010.1.1～2010.12.31
- 奨学寄附金
 - <三友工業 (株)>
 - 研究代表者：政策科学部 教授 鐘ヶ江秀彦
 - <Asia SEED/アジアシード 特定非営利活動法人アジア科学教育経済発展機構>
 - 研究代表者：政策科学部 教授 鐘ヶ江秀彦

【2009年度】

- 受託研究
 - <ベルテルスマン財団>
 - テーマ：日本における現在の保険政策問題と最近の改革進展
 - 研究代表者：産業社会学部 教授 松田亮三
 - 研究期間：2007.1.1～2009.12.31

<京都府八幡市>

テーマ：八幡市の事務事業評価システムの円滑な運用と経年的評価への展開
研究代表者：政策科学部 教授 村山皓
研究期間：2009.4.1～2010.3.31

<愛媛県松山市>

テーマ：平成21年度坂の上の雲ミュージアムに関する資料調査
研究代表者：政策科学部 准教授 宮脇昇
研究期間：2009.4.15～2010.3.31

● 競争的資金

<科学技術振興調整費 社会技術研究開発事業 (独) 科学技術振興機構 (JST)>
テーマ：生活介入方法の開発・被験者の脳機能と認知心理学検査
研究代表者：文学部 教授 吉田甫
研究期間：2007.4.1～2010.3.31

【2008年度】

- 受託研究
 - <(財)びわ湖ホール>
 - テーマ：公的施設としてのびわ湖ホールの存立、あり方、運営についての評価の研究
 - 研究代表者：政策科学部 教授 村山皓
 - 研究期間：2008.7.15～2009.1.31
 - <乙訓・八幡広域連携事業推進協議会>
 - 研究テーマ：乙訓・八幡地域における地域情報の共有化に関する調査・研究
 - ウェブコンテンツを活用した情報共有と地域イメージの創出
 - 研究代表者：政策科学部 教授 勝村誠
 - 研究期間：2008.6.10～2009.3.31
 - <トヨタ財団 研究助成プログラム>
 - テーマ：「バイオマス炭化物によるCO₂発生抑制」を通じた都市部から農山村部への資金還流モデル設計
 - 一ポスト京都議定書を見据えた排出量取引、農産物エコブランド化、エコポイントとの連携を通じて
 - 研究代表者：政策科学部 教授 鐘ヶ江秀彦
 - 研究期間：2008.11.1～2010.10.31
 - <科学技術振興調整費 社会技術研究開発事業 (独) 科学技術振興機構 (JST)>
 - テーマ：市民の科学技術リテラシーとしての基本的用語の研究
 - 研究代表者：産業社会学部 教授 山下芳樹
 - 研究期間：2007.4.1～2009.3.31

地域情報研究センターの刊行物

- 京都の老舗に伝わる教えと経営者倫理 -日本発CSRの源流探索 信頼の確保のために-
- 2007年4月25日発行 他多数

センター長

鐘ヶ江 秀彦 (政策科学部・教授)

主な研究拠点

立命館大学 (衣笠キャンパス) 地域情報研究センター

お問合せ先

立命館大学 研究部 リサーチオフィス (衣笠) 内 地域情報研究センター事務局

TEL : 075-465-8224 FAX : 075-465-8245 E-mail : liaisonk@st.ritsumeikan.ac.jp

URL : http://www.rirc.ritsumeikan.ac.jp/